令和５年度　　道徳教育全体計画

杉並区の目指す教育

目指す人間像

・夢に向かい、志をもって、自ら道を拓く人
・「かかわり」を大切にし、地域・社会・自然と共に生きる人

育みたい力

・自分の持ち味を見つけ、自ら学び、考え、判断し、行動する力
・変化の時代をとらえ、たくましく生きる心と体の力
・豊かな感性をもち、感動を分かち合う力
・他者の存在を認め、多様な関係を結ぶ力
・持続可能な社会を目指し、次代を共に支えていく力
　※いつの時代においても、人も自然も共に大切にし続けるという持続可能な社会を目指し、社会の一員である意識を高め、次代を共に支えていく力

学校経営方針

自主性・自律性の育成

・生徒の自主性、自律性の育成・向上を目指した学年・学級活動、生徒会活動、学校行事などの活動を充実する。
・土曜授業など、地域人材による支援を取り入れ、豊富な体験を通して、社会性を育む。

創造性の育成

・落ち着いた学習環境や生徒活動を効果的に取り入れた授業を通して、学習意欲の向上を図る。
・課題に対して互いの意見を出し合い、コミュニケーションを通して、思考力・判断力・表現力等を高め、創造性を育成する。
・授業のユニバーサルデザイン化を基本とし、特別支援教育の視点を通して、個々に応じた指導により、わかる授業を通して基礎的基本的な学習事項の定着を図るとともに、自尊感情、自己肯定感を育む。

豊かな心の育成

・「特別の教科　道徳」への取り組みを重視し、人権教育、教育相談・生活指導の充実を図り、幸福で文化的な学校生活を通して、豊かな感性、人間性、社会性を育む。

※本提出では変更予定

本校の教育目標

・自主自律
・創造性
・豊かな心
・健やかな身体

「特別の教科　道徳」を含む道徳の重点目標

・生命の尊さを理解し、かけがいのない自他の生命を尊重する力を育む。
・家庭、地域と連携し、総合的な学習の時間・特別活動と関連した体験を通して道徳教育を充実させ、道徳的な実践力を高める。
・思いやり、助け合いの心を育成し、集団の一員としての自覚を持たせ集団生徒の向上に努める。
・学校の歴史に触れ、地域についての見識を深めさせ、愛校心と郷土愛を育む
・共感と共動の精神を持ち、人としての豊かな心を育む生き方の考え方を深めさせる。

（指導重点項目）

A　自主、自律、自由と責任
B　礼儀　友情、信頼　思いやり、感謝
C　よりよい学校生活、集団生活の充実
　遵法精神、公徳心
　郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度
　国際理解、国際貢献
D　生命の尊さ

各学年の指導の重点

１　年	２　年	３　年
１．学級や学校の一員としての自覚をもち、教師や学校、地域の方々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する力を育む。 ２．身近な集団や住みよい地域社会の実現のために尽くせる力（自ら進んで考え、行動できる力）を育成する。	１．集団の一員として、相互に信頼し助け合う中で人間愛や人権尊重の精神を身につけさせる。 ２．進んで公共の福祉と社会の発展のために行動できる実践力を身につけさせる。	１．最高学年としての自覚をもち、自分の進むべき道を考えるとともに、道徳的な実践力を育てる。 ２．自ら社会的規範を意識して、よりよい社会の実現に向けて自主的・率先的に活動できる生徒を育成する。

「特別の教科　道徳」時間の指導方針

・「特別の教科　道徳」にあたっては、問題解決や体験を重視することで、「考え・議論する道徳」の意識を高め、道徳的な判断力、心情、実践的態度を育てる。
・教育活動全体を通じて、道徳教育を重視し、堅実な生活態度を育成し、正しい判断力を培い、積極的に自己の責任を果たす態度を育てる。
・「特別の教科　道徳」の授業を中心にして、心の教育を推進し、思いやりの心や感謝の心を育てる。
・人権教育を基盤とした道徳教育を通して、生徒の人権意識を高めるとともに、命を大切にする心を育てる。
・「いのちの教育月間」では、命の尊厳を指導項目とした道徳授業を行うとともに、いのちの教室を実施し、自他の生命を尊重する生徒の実践的態度を育てる。
・道徳授業地区公開講座や、地域の人材や題材を活用した授業や体験活動を実施し、感性豊かな心を育てるとともに人間として必要な規範意識を育てる。
・学校の歴史や地域についての見識を深めさせ、愛校心や郷土愛を育む。